

領域	問題のねらい	問題番号		正答率		
				小問	大問	領域
④ 図形 (15分)	1. 形やその特徴を認めたり、言い表わしたりする。	1	(1)	73.0	66.4	70.2
			(2)	58.9		
		2	(1)	48.4		
			(2)	52.8		
		3	(1)	81.3		
			(2)	81.8		
	(3)		69.4			
	2. 折ったり、重ねたりして考察する。	4	(1)	58.2	69.8	
			(2)	83.9		
		5	(1)	86.0		
			(2)	51.2		
	3. 方向や位置に関することばを用いる。	6	(1)	90.3	77.2	
(2)			84.5			
(3)			67.5			
(4)			66.5			

## 2 結果の考察

### [1] 概観

各問題の正答率は上表のとおりで、最も高い正答率を示しているのは、「1対1の対応をもとにし数えること」をねらいとした問題のうち、目的に応じて数える問題2であり、その正答率は96.2%となっている。最も低いのは、「数直線上の点と目盛りの理解」をねらいとした問題9(3)で、その正答率は48.2%である。

全問題のうち、比較的高い正答率を示している問題は、

- 1対1の対応をもとにして数える。
- 1位数の加法・減法の計算
- 簡単な2位数の加法の計算
- かさを比較する。

であり、1対1の対応をもとにして正しく数える能力および形式的な計算、そして、かさの意味、かさを測ることの意味についての理解が比較的良好であった。

比較的低い正答率の問題は

- 2位数の意味の理解
- 簡単な数の加法・減法の混合計算
- 整理して表わす
- 形やその特徴を認めたり、言いあらわしたりする。

である。これは、2位数の構造についての理解、加法・減法の混合計算の能力、目的に適して数え整理分類する能力、そして、図形の認知・弁別、図形を構成している要素についての理解など、図形の概念の理解が他に比して劣っているといえるであろう。

領域相互の平均正答率はつぎの表のとおりで、比較的低いのは、図形の領域、ついで、数と計算の意味の理解についての領域である。

領域	① 数と計算の意味の理解	③ 計算	② 量と定測	④ 図形
平均正答率	78.2%	84.2%	82.8%	70.2%